

令和4年度版原子力白書について

令和4年12月27日

1. 構成

- ✓ 令和3年度版原子力白書と同様に、「公表に当たって」、「はじめに」、「特集」、「各章」、「資料編」、「用語集」からなる構成とする。
- ✓ 原子力政策の動向や大きな環境変化を踏まえ、各章を記載する。
- ✓ 「各章」は、改定後の「原子力利用に関する基本的考え方」に基づく章立てとする。（8章をイノベーションと人材育成に分割し、1章～9章（※）とする方針）

※1章～9章

- 1章：「安全神話」から決別し、東電福島第一原発事故の反省と教訓を学ぶ
- 2章：エネルギー安定供給やカーボンニュートラルに資する安全な原子力エネルギー利用
- 3章：国際潮流を踏まえた国内外での取組
- 4章：国際協力の下での原子力の平和利用及び核不拡散・核セキュリティの確保
- 5章：原子力利用の大前提となる国民からの信頼回復
- 6章：廃止措置及び放射性廃棄物の対応
- 7章：放射線・ラジオアイソトープの利用の展開
- 8章：原子力利用に係るイノベーションの創出に向けた取組
- 9章：原子力利用の基盤となる人材育成の強化

2. 特集テーマ案

○原子力に関する研究開発・イノベーションの動向

<概要> 原子力イノベーションに向けた取組が世界的に進み、我が国でもグリーン成長戦略やクリーンエネルギー戦略にて原子力の研究開発に焦点が当たっている。その流れを受け、白書では、革新炉開発や原子炉の安全研究、廃止措置のための研究、原子力エネルギー分野以外での放射線利用等に関する研究などの幅広い分野の最新動向について、全体像と注目すべきトピック（技術面や実装面でのブレークスルー等）の両面から紹介する。

3. スケジュール案

- ✓ R4.12～ 構成・特集テーマ・スケジュールについて、定例会で発表
- ✓ ～R5.3 特集テーマについて、定例会にて必要に応じてヒアリング
- ✓ R5.7 下旬 原子力委員会決定、閣議配布(非法定白書)

(参考)「2. 特集テーマ案」に関して：

○原子力白書発刊再開後の特集テーマについて

・平成 28 年版（平成 29 年 9 月 14 日決定）

「原子力利用に関する基本的考え方」（「特集」としてではなく、「はじめに」の中で記載）

・平成 29 年度版（平成 30 年 7 月 5 日決定）

「原子力分野におけるコミュニケーション ～ステークホルダー・インボルブメント～」

・平成 30 年度版（令和元年 9 月 2 日決定）

「原子力施設の廃止措置とマネジメント ～海外諸国の状況及び経験を中心に～」

・令和元年度版（令和 2 年 8 月 31 日決定）

「原子力分野を担う人材の育成」

・令和 2 年度版（令和 3 年 7 月 27 日決定）

「東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故から 10 年を迎えて」

・令和 3 年度版（令和 4 年 7 月 28 日決定）

「2050 年カーボンニュートラル及び経済成長の実現に向けた原子力利用」